

教育委員会点検・評価報告書

(平成23年度評価)

平成24年8月

恵那市教育委員会

目 次

第1章 点検・評価制度の概要

- 1 点検・評価の目的1
- 2 点検・評価の対象1
- 3 点検・評価の方法2

第2章 教育委員会の活動状況についての点検・評価3

- 教育行政評価委員会からの意見5

第3章 教育委員会の行う事務事業の執行状況についての点検・評価7

- 教育行政評価委員会からの意見19

(参考資料)

- ・ 恵那市教育委員会点検評価実施要領22
- ・ 恵那市教育委員会組織図25
- ・ 平成23年度恵那市教育委員会提出議案等26

第1章 点検・評価制度の概要

1. 点検・評価の目的

恵那市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、教育委員会の主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を行い、課題や取組の方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

また、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進いたします。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規程により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規程により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

教育委員会は、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」（平成21年4月1日決裁）に基づき、平成23年度の教育委員会の事務事業等について、次の内容の点検・評価を実施しました。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する事項
 - ア 教育委員会の会議の実施状況
 - イ 教育委員会の調査活動の状況
- (2) 事務事業の執行状況に関する事項
 - ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況
 - イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

3. 点検・評価の方法

点検及び評価にあたっては、次の評定基準により、達成度についてその評価を行っております。

評定区分	評 定
A	目標を大きく上回る実績
B	目標をやや上回る実績
C	目標どおりの実績
D	目標をやや下回る実績
E	目標を大きく下回る実績

なお、地教行法第27条第2項に規定されている「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、「恵那市教育委員会点検評価実施要領」に基づき、評価委員会を設置し、評定結果に対する意見の聴取を行いました。

<恵那市教育行政評価委員>

(敬称略／氏名五十音順)

役職名	氏 名	公 職 等
委員	黄地 尚幸	恵那市まちづくり市民協会
委員	瀬瀬 佳恭	恵那市小中学校校長会会長
職務代理者	西山 さか江	保護司 元社会教育委員
委員長	林 達夫	東海学院大学短期大学部 非常勤講師
委員	林 正市	恵那市PTA連合会相談役

第2章 教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の 実施状況	<p>開催回数</p> <p>定例会議 12回 (12回)</p> <p>臨時会議 2回 (4回)</p> <p>審議件数</p> <p>議案 30件 (42件)</p> <p>うち可決したもの 30件 (42件)</p> <p>協議事項 9件 (29件)</p> <p>報告事項 91件 (93件)</p> <p>その他教育長報告 12件 (12件)</p> <p>※ () 内は前年度実績</p> <p>※議案案件の詳細については別紙 に掲載</p>	<p>【成果】</p> <p>月1回の教育委員会定例会を開催し、議案審議及び協議、報告を行い、委員による意見交換が行われた。その中で、主要事業については年度当初に主管課の課長から課題や実施方策について説明を受け、毎月進捗状況を確認していくことで、教育委員会の活性化と教育委員会事務局の的確な運営に寄与することができた。</p> <p>会議録はホームページに公開した。</p> <p>【課題】</p> <p>市民に教育委員会の内容や教育委員の考えを伝える工夫が必要である。</p> <p>教育委員会が出された意見等を事務局各課に指示し、検討結果をまた教育委員会で報告する流れを作る。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
調査活動等の状況	<p>市外視察</p> <p>平成23年10月17日(月) ～18日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市役所 ・浜松市教育委員会 ・東海道広重美術館 <p>市内視察等</p> <p>平成23年5.6.7.9.10.11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問 23校 <p>平成23年5.9.10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会、体育祭 <p>平成23年6月18日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「少年の主張」大会 <p>平成23年7月2日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵那市中学校総合体育大会 	<p>【成果】</p> <p>市外視察については、豊田市では、保育園・幼稚園の一体的な運用「こども園」について、浜松市では、「学校規模適正化方針に基づく学校再編」について説明を受けるとともに、意見交換を行い、教育委員会として丁寧な説明の必要性等を考える上で参考にすることができた。</p> <p>学校訪問では、学校の状況や実際の授業の様子を視察するとともに、教職員との意見交換などを行い、学校の現状の把握や指導に努めることができた。</p>

	<p>平成 23 年 7 月 22 日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市中央図書館 <p>平成 23 年 8 月 21 日 (日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市教育フォーラム <p>平成 23 年 10.11 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定校研究発表 5 校 <p>平成 24 年 1 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校と市教委懇談会 4 回 <p>平成 23 年 1.2 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間まとめの会 3 校 <p>平成 24 年 1 月 31 日 (火)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国体視察 <p>平成 24 年 2 月 24 日 (金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中山道広重美術館 <p>平成 24 年 3 月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校卒業式 8 校 <p>岐阜県市町村教委連研究総会</p> <p>平成 23 年 11 月 11 日 (金)</p> <p>高山市</p>	<p>【課題】</p> <p>今後も継続的に現場視察を行い、事業の実施時及び施策立案時に活用を図るよう努めることが必要である。</p> <p>研修成果を含め、教育委員会の活動を発信する工夫をしていきたい。</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>
<p>その他の事項</p>	<p>恵那市議会総務文教委員との懇談会</p> <p>平成 23 年 8 月 26 日 (金)</p> <p>市長との懇談会</p> <p>平成 24 年 2 月 24 日 (金)</p> <p>社会教育委員会からの提言書の受理</p> <p>平成 24 年 2 月 24 日 (金)</p>	<p>【成果】</p> <p>市議会議員との懇談会では、議員からの質問に回答する形で教育現場での課題等について意見交換をした。市長との懇談会では、市長の生涯学習を核としたまちづくり等に関する思いを聞き、教育委員の思いを市長に直接伝えるよい機会となった。</p> <p>社会教育委員会からの提言は初めてのことであったが、委員会の活動と課題を共有することができた。また、提言を受け実現の方向で各課に指示をした。</p> <p>【課題】</p> <p>懇談会の継続的な開催と、社会教育委員会との意見交換の場の設定</p> <p>【評価】</p> <p>C</p>

【教育行政評価委員会からの意見】

1. 教育委員会の活動状況について

【総評】

大津市の中学校の事件においては、学校と教育委員会の問題点がマスコミに指摘され、市長がこの事件について出ざるを得なくなった。憶測ではあるが、普段から市長と教育委員会とのかかわりの薄さの表れではないだろうか。当市においては、市長の思い（願い）が教育委員会との懇談で共通理解されており、市長を核として行政が一体となって、教育の充実と発展をめざして推進されていると思われる。このことは、市議会議員、学校職員との懇談なども実施されており、お互いの思いを理解しあい、課題解決へむけて努力する姿として現れている。

教育推進の具体化を、各教育関係者と緊密なつながりをもち組織的に図ろうとしている姿勢、また、当市の教育の現状や課題、成果、方策などを市民へ公開するなど、開かれた教育行政に向けた取り組みが行われていることは評価したい。

(1) 教育委員会会議の実施状況

- ・定期的に教育委員会会議が開かれ、着実に歩んでいることがわかる。
- ・多くの提出議案について検討され、教育委員会事務局との意見交換が行われており、よりよい市政運営について努力されている。
- ・会議録をホームページに公開する努力を続けてほしい。市民が教育委員会の仕事や役割を知る一助となり、開かれた教育委員会となる手段でもある。
- ・教育委員会の存在、活動内容を市民に伝える方法について、高齢者にもわかりやすい方法を検討してほしい。
- ・教育委員会の内容や考えを伝える工夫をどのようにしたか、また工夫の効果についても報告をしてほしい。教育委員会の存在意義を高め、市民にアピールすることも大切なことだと考える。
- ・教育委員会での意見を各課に流し、検討結果を報告するという意見処理というのは、民間ではシステム化されているところもあるようだが、大変重要なことだと考える。課題としてあげていることの実行を望む。

(2) 調査活動等の状況

- ・市外視察について、恵那市の抱えている課題として適切な訪問である。保幼一体園、学校統合について、市民の多くが納得する進め方を期待する。
- ・訪問先で学んだ参考にすべき内容について、その内容を恵那市版としてどうアレンジしていくのか楽しみである。
- ・学校訪問については、各学校の良さを認め議会や教育委員会ホームページで紹介

をしてほしい。

- 恵那市の教育の特色のひとつは「読書」であるが、その他各学校の良さを他校へ広め、共通の宝(特色)として、市内のどの学校でも見られるものにしてほしい。また課題については、どんな内容が共通した課題なのかを示し、その解決の方法を校長会、教頭会、主任会などで話し合い、明らかにし、実践することが望まれる。
- 学校訪問においては、教職員との意見交換から学校の現状把握等に努めているが、今後、児童会、生徒会を含め、直接生徒たちとの意見交換も行い、生徒の考えなどの把握も必要ではないか。
- 教育委員が学校現場に多く出向くことは、学校と教育委員会の関係を強くするものである。どこでも、現場の実情があって、その後の方向がある。できる限り現場に出向く教育委員会であってほしい。

基本目標（政策）	思いやりと文化を育む人づくりのまち
----------	-------------------

1. 学校教育の充実		
<p>地域・家庭との連携のもと、多様な学びが可能な教育内容や教育環境の充実、また交流活動を促進するとともに、安心・安全、快適な学校環境を整え、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を実践し、次代を担う子どもたちを育成する。</p>		
サブ施策名	より質の高い教育の推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館読書活動推進事業 ・少人数指導教育推進事業 ・教員研修事業 ・国際理解（ALT）教育推進事業 ・学校教育情報化推進事業 ・特色ある学校づくり事業 ・奨学資金貸与事業 ・小中学校の適正配置検討事業 	
取組と成果	<p>読書活動推進事業では、巡回学校図書館司書を1人増員して3人配置し、学校図書館の整備と蔵書冊数の充実を図ったことで児童生徒の貸出冊数の増加につながった。</p> <p>少人数指導教育推進事業では、児童生徒をサポートする学習支援員を前年同様に26人確保するとともに、年2回の研修会を実施し、よりきめ細かい指導が行えるよう努めた。</p> <p>教員研修事業では、計画した各種研修会が順調に実施できた。また、若年の講師を対象に教師としての基礎基本を習得させることを目的に研修会を5回実施した。</p> <p>学校教育情報化推進事業では、学校ICT活用支援事業として、ICT支援員を6ヶ月間派遣し、機器の活用促進とマニュアル等を作成してICT機器が有効利用できる環境を整えた。また、機器の整備として電子黒板10台とデジタル教科書を購入した。</p> <p>特色ある学校づくり事業では、地域や外部から評価される各校独自の創意工夫ある教育活動を実施し、ユネスコ青少年グランプリ文化賞（武並小学校）、岐阜県学校歯科保健優良校特選校（上矢作小学校）、同推進校（中野方小学校）、同優良校（大井第二小学校）、岐阜県ふるさと教育表彰（串原小、中学校）、FBC内閣総理大臣賞特別賞（恵那東中学校）、FBC奨励賞（中野方小学校）、児童生徒の体力優良校（飯地小学校）、東濃地区図書館教育賞優秀賞（岩邑小学校）、岐阜県読書感想画コンクール学校賞（長島小学校・大井第二小学校・岩邑小学校）などを受賞するなど成果を上げている。</p> <p>また、基礎学力向上支援として導入した「学習支援システム」を活用し、個に応じた学習指導の充実を図ることができた。</p> <p>小中学校の学校評価では、保護者アンケートで「総合的に見て満足・やや満足」と回答した割合が85.2%で、目標の70.0%を大きく上回った。</p>	C

サブ施策名	学校間・学校と地域の交流促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとふれあい交流（市内学校地域交流）事業 ・野外活動推進事業 ・食育の推進 	C
取組と成果	<p>ふるさとふれあい交流事業では、小中学校15校が旧恵那市の学校と旧恵南地区の学校で交流活動を実施し、活動を通じて互いの地域の特色、文化、歴史、自然を理解することができた。</p> <p>野外活動推進事業では、根の上恵那山荘、美浜少年自然の家、各務原少年自然の家、篠島、若狭等での自然体験は、各学校が工夫して教育効果を高めている。</p>	
サブ施策名	相談しやすい環境づくり（心のケア）	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育体制推進事業 ・不登校等対策事業 ・発達相談事業 	B
取組と成果	<p>不登校等対策事業では、県のスクールカウンセラーの配置や適応指導教室の設置、心の教室相談員の配置などで児童生徒や保護者を支援する環境を整え、不登校児童生徒の割合が全体人数の1.23%から0.94%に減少するなどの効果が出ている。</p> <p>要支援児童や新就学児への適応就学を行うために、「子ども元気プラザ（子育て支援課）」との連携を強化した対応をし、保育園・幼稚園への巡回相談に同行したり、就学相談会を開催し、就学指導の充実を図った。</p>	
サブ施策名	学校施設等の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全対策事業 ・武並小学校校舎棟耐震補強大規模改造事業 ・明智小学校校舎耐震補強大規模改造事業 ・明智中学校校舎耐震補強大規模改造事業 ・小学校危険遊具改修事業 ・小中学校屋外トイレ改修（水洗化）事業 ・東野小学校プール改築事業 	B
取組と成果	<p>武並小学校校舎耐震補強及び大規模改造工事、明智小学校耐震補強及び大規模改造工事（Ⅱ期工事）、明智中学校耐震補強及び大規模改造工事（Ⅱ期工事）を実施した。工事は学校休業日に集中して行い、児童生徒の学業面や安全面に考慮して実施し、予定通りに完成した。</p> <p>これにより市内公立学校施設の耐震化は、当初の予定より4年早くすべて完了した。</p> <p>課題であった明智小学校内の明智学童保育所の改修については、大規模改造工事の中で調理設備や水道・電気の子メーター設置などを行い、独立施設としての使用を可能にした。</p>	

<p>未達成の課題と今後の取組</p>	<p>市内のほとんどの学校が小規模化してきており、特に1学年が10人に満たない学年は、子どもたちがより良く教え合い学び合う教育環境ができなくなる。このことを単に学校の統廃合に結びつけるのではなく、保護者や地域の関係者と共に対策を考えていく必要がある。</p> <p>支援の必要な子どもたちに対しては、「トータルサポート事業」を通して、保育園、幼稚園、子ども発達支援センターなどと連携し、スムーズな就学を図る。</p> <p>「ふるさとふれあい交流事業」は、活動の目的も達成されてきており、「野外活動推進事業」などと合わせて事業を見直していく。</p> <p>学校施設の整備では、市内全ての小・中学校施設の耐震化が完了したため、今後は老朽化した学校水泳プールの改築（耐震・浄水型）を進める。</p>
---------------------	--

2. 生涯学習の推進		
<p>市民の誰もが生涯を通じて、それぞれの意欲や興味に応じた自発的・自主的な学習活動を実践し、その成果が自分とともに社会に生かせ、市民一人一人の生きがいにつながるよう、「恵那市三学のまち推進計画」に基づき、学習機会の拡充や体制整備、施設や図書館機能の充実を図る。</p> <p>また、郷土の先人佐藤一斎の社会に役立つ有為な人になろうと生涯学び続ける「三学の精神」を理念に、読書に親しみ、学びを広げ、学んだことを地域社会に生かす市民三学運動を市民とともに進める。</p>		
サブ施策名	生涯学習機会の拡充	評価
<p>主要事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習市民三学運動啓発事業 ・市民三学地域塾の開講 ・市民三学・市民講座開講事業 	
<p>取組と成果</p>	<p>恵那市三学のまち推進計画に基づき、「子どもから高齢者までみんなで学んで幸せになろう」を合言葉に、生涯学習、成人教育、人権教育、家庭教育などを推進し、佐藤一斎日めくりと恵那の先人30人の全戸配布、恵那市読書の日の制定を行った。</p> <p>生涯学習講演会を5回開催し、年代性別など対象者を特定した講演会も含め、多くの方の参加を得た。</p> <p>生涯学習の拠点となる各地区コミュニティセンターでは、市民講座を333講座開講し、5,036人の市民が受講した。その他、文化まつり、子どもフェスティバル（H23は科学の祭典岐阜大会in恵那）、地域づくり事業などを行い、13館全体での利用者は延べ187,600人となった。</p> <p>まちづくり学習出前講座では、381件の申込みがあり、延べ23,942人が受講した。学ぶ機会の提供に留まらず、市民講師の側からみると自身の知識技能を生かし、生きがい作りにもつなげ、学んで生かすを実行する場ともなった。</p>	<p>C</p>

サブ施策名	生涯学習体制の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民三学運動推進委員会の設置 ・市民三学地域委員会の設置（13地域） 	
取組と成果	<p>恵那市の生涯学習、市民三学運動を推進、啓発するために設立した市民三学運動推進委員会、また、市内13地域の市民三学地域委員会が2年目を迎え、地域塾の内容充実を図るなど、恵那市三学のまち推進計画に基づく施策を展開した。また、読書のすすめの拠点施設である恵那市中央図書館では、郷土学習指導員により、郷土の自然、先人などを題材とした展示会を開催するなど、生涯学習推進体制が充実整備された。</p>	C
サブ施策名	生涯学習施設の整備	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館改修事業 ・公民館図書室ネットワーク事業 	
取組と成果	<p>東野コミュニティセンターではバリアフリー改修工事でエレベーターを設置し、岩村コミュニティセンターでは、第Ⅰ期大規模改修工事として事務所側の建物について空調、トイレ、内装などの改装を行った。山岡、明智、串原コミュニティセンターでは照明器具の改修工事を、中、東野、三郷コミュニティセンターでは誘導灯の取替えを行った。</p> <p>地区コミュニティセンター図書室では、8地区の図書登録が完了し、図書システムによる貸出と返却処理ができるようになった。</p>	C
サブ施策名	読書推進と図書館機能の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市中央図書館読書活動推進事業 ・ブックスタート事業 ・セカンドメッセージ事業 ・地区コミュニティセンター（公民館）図書室の充実 ・巡回学校図書館司書の配置 	
取組と成果	<p>恵那市中央図書館では、今年度図書9,663冊を整備し、平成23年度末蔵書冊数188,227冊、年度末利用登録者23,112名、年間貸出冊数377,049冊、年間貸出利用者数78,285名、年間来館者数326,029名となり、市民一人当たりの利用冊数が6.9冊と県下でも上位の利用状況となっている。</p> <p>保育園などに読み聞かせを42回、小学校にブックトークを10回実施した。</p> <p>図書配送便を活用し、小中学校23校のリクエストに応じて、16,488冊配送した。予約した資料や希望する資料の各地区公民館図書室での受け取り冊数は390冊、各地区公民館図書室での返却冊数は4,598冊と、中央図書館になかなか来館できない利用者の利便性の向上を図った。</p>	C

	<p>図書館サポーターえなによる、天の川イベント、朗読フェスティバルやクリスマス会、古典文学講座などの開講、図書修理、書架整理、広報誌発行などを行った。</p> <p>子どもの読書活動を推進するため、セカンドメッセージとして就学時健診などで保護者に、おすすめ図書リストを作成して380冊配布した。保護者に本の選び方や読み聞かせなどの研修を実施した。小学生4～6年生を対象とした子ども司書講座を夏休みを中心に実施し、24名全員に認定証を授与した。</p>	
<p>未達成の課題と今後の取組</p>	<p>平成23年4月に宣言した生涯学習都市「三学のまち恵那」をより積極的に推進する体制を強化するため、新たに生涯学習まちづくりセンターを設置する。また、市民三学運動推進委員会や地域委員会による地域塾の開講などを支援する。</p> <p>恵那市中央図書館では、児童サービス、地域サービス、郷土資料室充実の三つの重点サービスを中心に、読書活動の推進を図る。また、国の交付金などを活用し図書の充実を図る。</p> <p>地区コミュニティセンターのバリアフリー化を含めた改修など施設整備を進めるとともに、中央コミュニティセンターと12地区コミュニティセンターを中心に、市民講座の充実や地域づくりの推進に努め、生涯学習環境の充実と地域づくりとの連携を図る。</p>	

3. 人を育み、人を生かす教育		
<p>家庭、学校、地域社会が一体となって、次代を担う青少年の健全育成や親と子の豊かな心を育む家庭教育、社会性や協調性を育む地域教育、人権教育などを進める。</p>		
サブ施策名	青少年の健全育成	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会活動支援事業 ・青少年育成市民会議事業 	C
取組と成果	<p>青少年育成市民会議と各町民会議では、各種事業を主催又は共催し、延べ14,760人の参加があった。また、青少年育成市民会議と市PTA連合会が連携した子育て親育ちフォーラムや少年の主張大会の開催、下校時の見守り放送、子ども会インリーダー研修の実施など青少年の健全育成に努めた。</p> <p>子どもの体験交流、居場所づくりの場となる子ども教室は、新たにスタートした大井第二小学校を加え、大井小学校、長島小学校、飯地コミュニティセンター、岩邑小学校、山岡小学校、串原コミュニティセンターの7箇所を実施し、それぞれの教室の連携とレベルアップを図るため子ども教室連絡会を新たに設置した。</p> <p>放課後子どもプラン推進協議会において、平成20年度に策定した「放課後子どもプラン基本方針」をもとに、学童保育と子ども教室の現状と課題などを協議した。また、学童保育指導員と子ども教室サポーターが合同で安全や子どもとの接し方などの研修会を行った。</p>	
サブ施策名	家庭教育・地域教育の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育事業の推進 ・子ども教室推進事業 ・放課後児童対策事業 	C
取組と成果	<p>仲間づくりや家庭教育の場として、13コミュニティセンターで323組の親子が参加して乳幼児学級を開催し、交流活動を行った。</p> <p>市民講座で地元講師を活用した子ども対象講座「知新塾」の開講などが評価され、昨年の明智コミュニティセンターに続き、岩村コミュニティセンターが文部科学省の優良公民館表彰を受賞した。</p> <p>その他、パパママ学級やひよこパパママ学級、PTA家庭教育学級、中部大学と連携した成人女性対象のビューティーレッスン講座、子育て親育ちフォーラムの開催など家庭教育支援計画の推進に努めた。</p>	

サブ施策名	人権教育の充実	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重教育の推進 ・男女共同参画意識の周知・啓発 	
取組と成果	<p>青少年育成市民会議、少年センターと連携し、岐阜県人権懇話会会長藤田敬一さんによる講演会「生き合う力を育むー青少年育成と人権感覚」を、またTBS職員杉尾秀哉さんによる講演会「報道と人権」を開催し、両方で約400人の参加を得た。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>恵那市放課後子どもプラン推進協議会では、基本指針に基づき、子ども教室と学童保育の連携した事業を推進する。また、子ども教室と学童保育との共通したテーマによる研修会なども開催し、スタッフのスキルアップを図る。</p> <p>子ども教室は7箇所で開催しているが、スタッフ不足が課題となっている。子ども教室を広く市民に知っていただき、スタッフ・参加者を増やすため、CATVを活用したPR番組を作成する。</p> <p>乳幼児学級の内容の充実を図り、参加率の向上を目指す。</p> <p>青少年育成市民会議とPTA連合会の共催による「子育て親育ちフォーラム」を開催し、団体同士の連携や市民協働の推進に取り組む。</p> <p>平成22年度に見直した恵那市家庭教育支援計画「ステップ親子学びプラン」に沿った施策の実現を図る。</p>	

4. 文化・芸術活動の振興		
市民が文化・芸術に触れられる機会を充実するとともに、文化関連施設の効率的な管理運営の検討を含めた施設の充実を進め、市民の文化・芸術活動の活発化を図る。		
サブ施策名	文化・芸術活動の振興	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那文化劇場の充実 ・ 中山道広重美術館事業 ・ 恵那市文化振興会の育成支援 	C
取組と成果	<p>恵那文化センターと明智かえでホールでは合わせて6本の自主事業を実施し、入場者数は4,690人、サンホールくしはらでは1事業を実施し、入場者数は150人であった。</p> <p>中山道広重美術館は、開館10周年を記念し、春は「画家林静一展」、秋は「諸国名所百景」・大正百年記念「叙情の系譜展」と特別企画展を3回開催し、岐阜県美術展の移動美術館展「土屋輝雄展」などの企画展を開催した。また、連続講座やこども版画コンクールなど教育普及事業を開催し、市民の美術館としての取り組みを行った。入館者数は昨年を少し上回る15,265人となった。</p>	
サブ施策名	文化・芸術施設の整備と効率的な管理運営	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化・芸術施設の効率的な運営 	C
取組と成果	<p>恵那文化会館と明智かえでホールの2施設について、利用しやすい環境の創出、市民サービスの向上などの観点から、自主事業の予算・企画運営と舞台管理業務の一元化を実施した。</p> <p>明智かえでホールでは、ピアノなどを無料開放し児童生徒に学習機会を提供、サンホールくしはらは文化祭やこども歌舞伎の伝承に利用されるなど両施設の維持管理を行った。</p>	
サブ施策名	文化・芸術の育成・PR	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 恵那市伝統芸能大会事業 ・ 恵那市文化祭開催事業 	C
取組と成果	<p>伝統芸能大会は、総勢250人の出演者と延べ1,033人の来場者を迎え、各地域の伝統芸能を通じて合併後の市民の一体感を醸成することができた。</p> <p>第54回文化祭を9月からの約3ヶ月間、12種目にわたって開催し、1,440人の参加者があった。</p>	

未達成の課題と今後の取組	<p>第55回を迎える文化祭は、内容の充実と参加者増に向けた企画を検討する。</p> <p>中山道広重美術館では、例年の教育普及事業（連続講座、木版画講座、こどものためのワークショップ、版画コンクール）を行いながら、新しいジャンルの企画展示を取り入れ、市民に親しみやすい企画と関連イベントを開催していく。また、地元商店街や商工会議所との協働事業を引続き進める。</p> <p>（公財）恵那市文化振興会と（公財）中山道広重美術館の公益法人としての適切な運営を支援していく。</p>
--------------	---

5. 文化財の保護		
古くから郷土に受け継がれている文化財や伝統芸能に対する理解を深め、大切に保存・育成し、後世に伝承していく。また、学習資料・観光資源としてのPRと活用に努める。		
サブ施策名	文化財の調査研究・評価	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土の先人顕彰事業 ・岩村城・岩村城下町・美濃国遠山荘総合調査事業 ・文化財の調査・保存・活用 	
取組と成果	<p>植物学者三好學博士生誕150年を記念し、市民による実行委員会を組織して、桜の植樹、こども植物画コンクール、漫画本の作成（小中学生に配布）、フェスティバルの開催などにより顕彰を行って、広く情報発信を行った。</p> <p>第9回下田歌子賞では、「先人に学ぶ」をテーマにエッセイと短歌を募集、エッセイ778件（昨年308件）、短歌1,186首の応募があり、12月10日に表彰式と記念イベントを実施し、顕彰と情報発信をした。</p> <p>県史跡岩村城跡は、文化庁の補助事業により、八幡曲輪・屋敷跡の発掘調査及び城下町分布調査に取り組み、八幡櫓（二重櫓）と土堀の礎石を確認した。</p> <p>歴史資料調査は、旧家から寄贈された古文書、山岡郷土史料館所蔵資料などの整理を行った。</p>	C
サブ施策名	文化財の保存・活用	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化的景観保護推進事業 ・正家廃寺跡保存整備事業 ・岩村城下まちなみ保存事業 ・上矢作松並木保護整備事業 ・八王子神社社殿（明智町）拝殿保存修理補助事業 ・中山道保存修景整備事業 	

取組と成果	<p>県重要文化財八王子神社社殿は、所有者の行う修理事業に補助を行うとともに、修理を指導した。</p> <p>史跡正家廃寺跡は「正家寺平歴史の里整備構想研究会」がまとめた整備についての構想などを参考にしながら、保存管理計画を策定した。</p> <p>中山道は、国史跡申請に向けて、地元関係への説明を行うなど準備を進めた。中山道ひし屋資料館では、企画展やイベントを実施し、大井宿の歴史と文化の情報を発信した。</p> <p>県史跡岩村城跡は、支障木28本の伐採を行い、石垣の保護を図った。</p> <p>岩村城下のまちなみ保存では、伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理修景工事に補助を行い、監理・指導をするとともに、木村邸資料館の保存修理に取り組んだ。岩村歴史資料館の入館者数は微増であったが、まちなみ利便施設では、秋以降の観光客の動向により減少している。</p> <p>市文化財岩村藩鉄砲鍛冶加納家は、修理に必要な調査・設計を行った。</p> <p>坂折棚田は、文化財としての保存と活用に向けて先進地視察を行い、地元関係者との協議を行った。</p>	C
サブ施策名	伝統文化の伝承	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝承教室の実施 ・恵那市伝統芸能大会事業（再掲） ・恵那市文化振興会の育成支援（再掲） 	
取組と成果	<p>第11回岐阜県獅子芝居公演を実行委員会により開催、6団体が8演目を上演し、300人の入場があった。</p> <p>第21回恵那市伝統芸能大会の実施により、発表の機会を提供し保存伝承に努めた。</p> <p>恵那市伝統文化こども教室実行委員会を結成し、文化庁の「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」により、市内4団体が年間を通じて、児童生徒を対象に地歌舞伎と笛の伝承教室を開催した。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>岩村城跡では、4年間にわたる発掘調査の結果を報告書とする。正家廃寺跡は指定地の公有化を進める。</p> <p>中山道は、国史跡申請を行う。中山道ひし屋資料館では、企画展やイベントを実施するほか、中山道の保存団体や大井町のまちづくり団体による利活用の促進を図る。</p> <p>岩村町の伝統的建造物群保存地区では、引き続き保存修理を進める。また、社会資本整備総合交付金事業として行われている電線類地中化事業が最終年度となるので、適切な修景整備に努める。</p> <p>岩村歴史資料館は、所蔵品の整理を進め、展示のリニューアルなどを検討する。</p>	

6. スポーツ活動の振興		
<p>市民一人一人が、それぞれのライフスタイルに応じて、日常生活の中で主体的にスポーツに親しみ、明るく健康で活力のある生涯を送るために、地域コミュニティにおける生涯スポーツを推進する。また、スポーツを通じて個人やチームの連帯感を高め、自己実現を果たすことができる競技スポーツを推進するとともに、スポーツに取り組むことができる施設環境を整備する。加えて、スポーツイベントを開催し、市内外のスポーツ交流を促進する。</p>		
サブ施策名	地域スポーツの推進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツ組織支援事業 ・地域スポーツ推進委員設置事業 	C
取組と成果	<p>子どもから高齢者までスポーツに親しめる環境づくりのため、引き続き総合型地域スポーツクラブの設立と運営を支援した。</p> <p>スポーツ推進委員、地域スポーツ推進委員の設置により各地域を舞台としたスポーツ行事の推進を図った。</p> <p>体育の日のスポーツ活動人口の増加のため「レクスボえなフェスティバル」をメイン会場（まきがね）と各地域でのサテライト方式で実施し、2,187人の参加があった。</p> <p>13地域体育協会に活動補助金を支出し、自主活動の助成を行った。</p>	
サブ施策名	スポーツをする機会の増大	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那市体育連盟支援事業 ・スポーツ教室開催事業 ・スケート振興普及推進事業 	C
取組と成果	<p>（財）恵那市体育連盟を中心にスポーツ教室や、スポーツ推進委員による出前講座、スポーツイベントを開催した。</p> <p>競技スポーツの推進に向けて指導者養成講習会を開催した。</p> <p>クリスタルパーク恵那スケート場において、オープニングイベント、6周年記念イベント、クリスタルクリスマスイベント、カーリング教室、フィギアスケート教室、クリスタルカップフットサル大会、クリスタルパークインラインフェスティバル、星空観察会、ノルディックウォーク教室、キッズサッカー教室を開催し、年間来場者は92,076人となった。</p> <p>国体開催種目であるスケート、弓道の普及のため、教室開催回数を増やした。（スケート教室9回、498人参加。弓道教室10回、150人参加）</p> <p>13地域のウォーキングコース（18コース）を恵那市ホームページで紹介した。</p> <p>国体開催記念無料滑走券を市内全戸に配布し、スケート場のPRとスケート普及に努め、777人の利用があった。</p>	

サブ施策名	スポーツをする場の提供	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の地域開放 ・まきがね公園体育館等大規模改修 ・スポーツ施設の改修 	
取組と成果	<p>施設利用料金の統一と減免基準の統一を行った。</p> <p>小中学校の協力を得て、学校スポーツ施設の市民開放を行った。</p> <p>社会体育施設（毛呂窪体育館給水工事及び漏電調査、岩村グラウンド照明修理工事及び外灯修理、上矢作体育館水漏れ修理及び入り口ドア修理、山岡グラウンド水銀ランプ取替え工事及びグラウンド内施設整備等）の改修を行い、利用の促進を図った。</p>	C
サブ施策名	スポーツ交流の促進	評価
主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ・恵那峡ハーフマラソン開催事業 ・日本大正村クロスカントリー開催事業 ・国民体育大会開催事業（弓道・スピードスケート） 	
取組と成果	<p>（財）恵那市体育連盟に委託し、恵那峡ハーフマラソン大会（2,196人参加）、市民体育大会（16種目2,376人参加）、大正村クロスカントリー（1,538人参加）を開催した。また、テニス、卓球、弓道、スケートなど各種スポーツ教室も実施し、146回開催、2,891人の参加があった。</p> <p>新しいスポーツとして、ノルディックウォーキングの普及に努めた。</p> <p>ぎふ清流国体開催に向けて、13地区の各種行事でPRを行ったり、レクスポえなどで弓道の体験コーナーを実施したりするなど、国体開催の周知に努めた。</p> <p>6月に開催したぎふ清流国体弓道競技リハーサル大会には2,900人の参加があった。また、1月にぎふ清流国体のトップをきって開催された国民体育大会スピードスケート競技会には、目標の1万人を大きく上回る30,300人の参加があり、大会を盛り上げることができた。</p>	C
未達成の課題と今後の取組	<p>ぎふ清流国体の弓道競技会の開催に向け準備を進める。</p> <p>体育施設の管理運営では、引き続き適切な管理に努める。</p> <p>地区体育協会やまちづくり組織、総合型地域スポーツクラブなどがスポーツ振興を担っていることから、それぞれの役割を整理するとともに、加入率が低迷する総合型地域スポーツクラブの支援と在り方の検討を進める。</p> <p>クリスタルパーク恵那スケート場では、多くの方に利用いただけるようPRやイベントの開催に努める。</p> <p>平成24.25年度にかけて、各地区と市全体のスポーツ振興計画を策定し、現在の体育振興施策を再構築していく。</p>	

【教育行政評価委員会からの意見】

1. 教育委員会の行う事務事業の執行状況について

【総評】

「思いやりと文化を育む人づくりのまち」という基本目標をかかげ、1 学校教育、2 生涯学習、3 地域教育（家庭）、4 文化・芸術活動、5 文化財保護、6 スポーツ活動の6つの主要な柱を立てて教育行政の具体化を図っている。そしてそれぞれの柱には具体的な施策を設定し、成果をあげようと努力している。

教育行政に関しては、幅が広くやるべきことは多くあり、全てをやることは不可能なことである。当市では基本目標の実施に向けて、現実を見据え、将来を見据えて焦点化を図って着実に歩んでいることは評価できる。そして一つ一つの施策については、目標達成についてより緻密な方策を立て、組織的に進めていることから成果を上げている。また、やり残した課題についても、達成できなかった原因を探り新たな方策を立て次年度へ向かう姿勢で行われていることから、次年度の成果が期待できる。

(1) 教育委員会主要事業について

- ・ 学校環境の整備（子どもが学びに集中でき、安全な学校生活を過ごす）が、計画的に先の見通しを持って着実に進められていることを評価したい。がまんさせることも大切であるが、「どんなことはがまんさせるのか」「このことはがまんさせないこと」と明確にし、学習環境を整え、学習に集中できる配慮がなされている。
- ・ 学校適正化への検討について、あせらず着実に見通しを持って説得にあたっていることはとてもよい。明智町の2小学校の統合について、「地元で考えてほしい」と、協議会で検討するように諮問したことも評価したい。
- ・ 給食費滞納問題に関わる集金方法については、地域事情があるので難しいが、教育委員会だけの問題にせず解決策を見出すことも必要である。
- ・ 基礎学力向上支援事業については、すばらしい手立てだと評価したい。教員にも子どもにも好評であることから、今後の継続した取組の成果を期待したい。「わかる、できる」ことが意欲的な学びにつながり、学習からの逃げをなくすことになる。また、学習は温かい学級の仲間があつてこそ健やかな成長、着実な社会性の定着につながる。学級集団の実態をさぐる「Q-U（いごちのよいクラスにするためのアンケートと、やる気のあるクラスをつくるためのアンケートからなる心理検査）」をうまく活用して、よい学級経営のできる教師を育ててほしい。
- ・ 教師の指導力向上が子どもの学力や社会性、運動能力の向上につながることから、ますます教員研修の充実を図ることが望まれる。教師力の向上と子どもの

力の向上が関連していることをデータとして示すことができるとよい。

- ・ 「先人教育」の充実は、教師自らが先人にほれこむことが必要である。そのためには先人を深く知ることが第一である。これからも充実を図ってほしい。
- ・ 「三学のまち」推進計画実施事業～読書と先人教育～は、学校図書館、中央図書館を活用し、学年に合った方法で取り組み、よい結果が出ている。少年の主張大会でも、佐藤一斎の教えや地域の古き良きものを大切に守る精神が、中学生の心に伝わっていると実感できた。
- ・ 事業は年度を決めて、一定の検討方式を得て見直しをしていくことが大切である。関係者の聞き取り、アンケートなどを検討に組み入れ、より多くの市民のニーズを事業に反映していくことが重要である。

(2) 恵那市総合計画施策について

- ・ 県などで子どもや学校が表彰されることは名誉であり、子どもや職員、地域の方々の自信と活力につながる。今後も着実に成果を上げ、コンクールなどに参加していくことが望まれる。
- ・ 教師の指導力向上、「教師が変われば子どもが変わる」指導力のある教師が指導すれば子どもは向上する。そのためにも指導力向上支援事業の充実を継続することが望まれる。経験年数に応じた研修内容、専門教科の指導力向上、小学校教員の音楽や体育、図工の指導方法をマスターできる研修の実施が必要だと考える。
- ・ 学校間交流のためには、第一に自校の子どもたち自身に地元のよさや歴史などを学ぶ機会を与えることが大切である。交流校の子どもが来校したときに、子どもたちが説明できる姿に自信と誇りを持ち、自慢できるふるさとを。
- ・ 学校の適正化の検討は地元の声を大事に進めてほしい。地元が賛成することが重要である。
- ・ 学校の情報化事業では、電子黒板の利用が特に高まっている。更なる充実が望まれる。
- ・ 生涯学習にかかわって、三学の地域塾と公民館講座、生涯スポーツとかかわって、スポーツ教室と総合型スポーツクラブの教室と、地域の活動と市全体のサービスとのかかわりを整備していく必要がある。参加者の奪い合いになっていないか。
- ・ 子育ての中核は親であり、恵那市の重点である読書の推進を図るだけでなく、本好きな子どもを育て、心豊かな子どもに育てる読み聞かせのできる親への研修は継続して進めることが望ましい。
- ・ 地域総合型スポーツクラブの必要性はより高まってくるが、徐々に人員が減少していつている。このあたりの解決策が望まれる。
- ・ 恵那市には恵那峡ハーフマラソン、日本大正村クロスカントリーと2つの長距離大会がある。子どもたちや市民にその大会に憧れを持たせるような強化策を図れないか。実施するだけでなく、生かしていくことも今後の課題だと考える。

参 考 資 料

- ◆ 惠那市教育委員会点検評価実施要領
- ◆ 惠那市教育委員会組織図
- ◆ 平成23年度惠那市教育委員会提出議案等

恵那市教育委員会点検評価実施要領

平成 21 年 7 月 24 日恵那市教育委員会告示第 14 号

(目的)

第 1 条 この要領は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号。以下「法」という。）第 27 条第 1 項に規定する点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(評価事項)

第 2 条 教育委員会は、前年度の次の各号に掲げる教育委員会の取組みについて点検及び評価を実施する。

(1) 教育委員会の活動状況に関する事項

ア 教育委員会の会議の実施状況

イ 教育委員会の調査活動の状況

(2) 事務事業の執行状況に関する事項

ア 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行状況

イ 恵那市総合計画に掲げる主要施策の執行による成果

(3) その他教育委員会が必要と認める事項

(点検評価の手順)

第 3 条 教育長は、前年度における前条第 1 号及び第 3 号に掲げる事項について、教育委員会会議等の点検及び評価（様式第 1 号）により、点検及び評価を行うものとする。

2 前年度における前条第 2 号に掲げる事項についての点検及び評価は、市が実施する総合計画管理チェックシートにより行うものとする。

3 教育長は、第 1 項及び第 2 項の結果を教育委員会に報告する。

4 教育委員会は、前項の報告を基準として、点検及び評価を実施する。

(評価委員会の設置)

第 4 条 教育委員会は、法第 27 条第 2 項の規定により、同条第 1 項の点検及び評価を行うに当たって教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、恵那市教育行政評価委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 5 条 委員会は、教育委員会の求めに応じ、第 3 条の点検及び評価を行うに当たり、意見を述べるものとする。

(委員)

第6条 委員会は、5人以内の委員で組織し、委員会の委員は、優れた識見を有する者その他教育委員会が適当と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員の任期は2年とし、再任されることができる。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第7条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定した委員がその職務を代理する。

(公表)

第8条 教育委員会は、法第27条第1項に規定する点検及び評価の結果に関する公表について、ホームページにより行うものとする。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

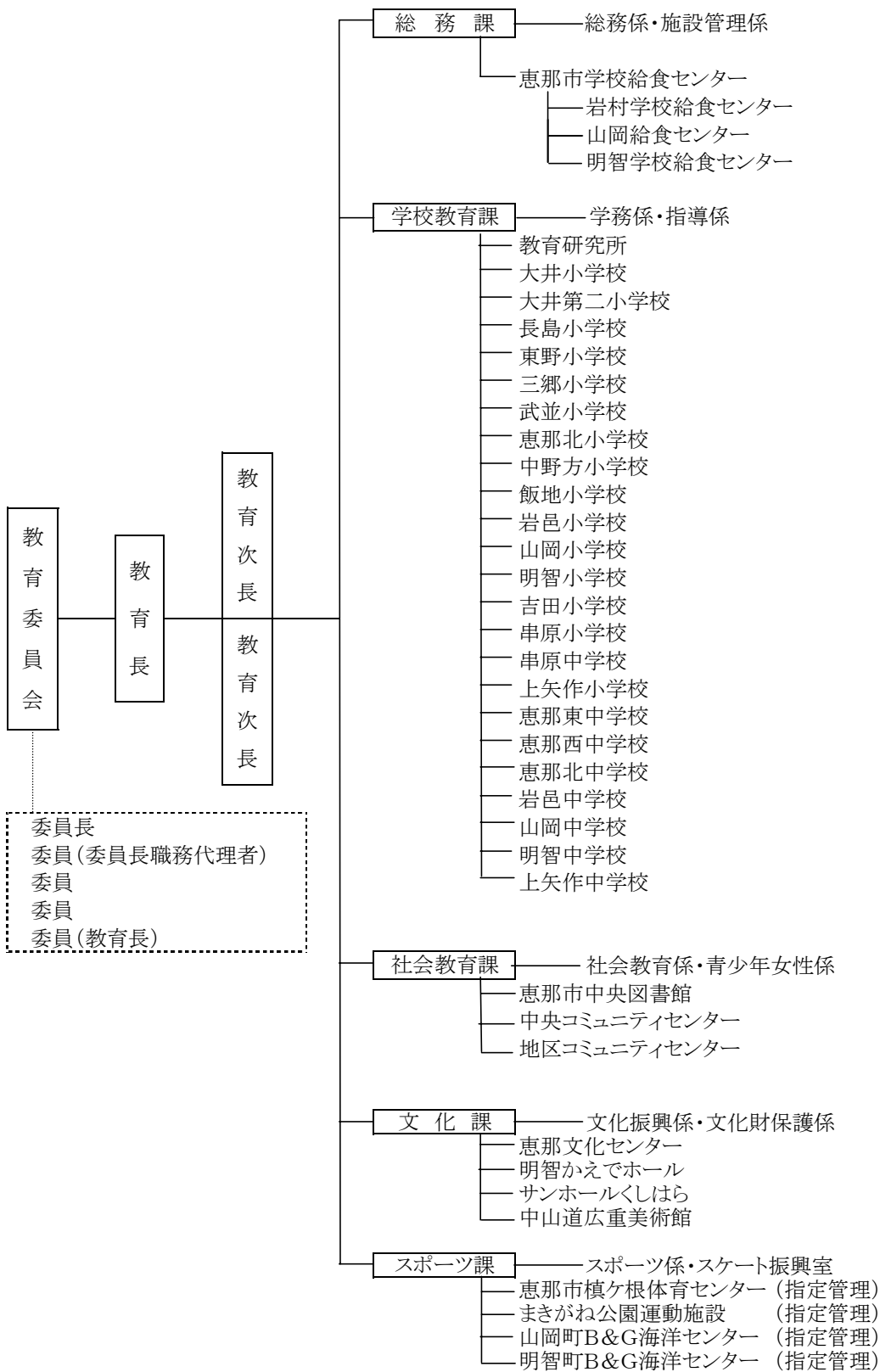
この告示は、告示の日から施行する。

様式第1号（第3条関係）

教育委員会会議等の点検及び評価

	実 績	成 果 ・ 課 題
教育委員会会議の実施状況		
調査活動等の状況		
その他の事項		

恵那市教育委員会の組織図



平成23年度恵那市教育委員会提出議案等について

委員会回数	議決年月日	議案番号	提出議案等
第5回定例会	平成23年4月27日	議第37号	恵那市大正村明智の森キャンプ場の管理規則の制定について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業について 報第2号 恵那市の小中学校のトピック(5月)について 報第3号 恵那市図書館資料複写サービス取扱要綱の制定について 報第4号 恵那市図書館資料除籍基準の制定について 報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第7号 5月の行事予定について
第6回定例会	平成23年5月31日	議第38号	恵那市教育委員会会議等の点検及び評価(平成22年度)
		議第39号	恵那市図書館協議会委員の委嘱について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市教育行政評価委員の委嘱について 報第3号 恵那市の小中学校(6月)のトピックについて 報第4号 平成23年度岐阜県教科用図書東濃地区採択協議会について 報第5号 平成23年度震災支援小・中・高等学校・特別支援学校派遣教員の決定について 報第6号 社会教育委員の委嘱について 報第7号 恵那市青少年育成市民会議総会及び少年の主張大会開催について 報第8号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第9号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第10号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第11号 教育委員会訪問について 報第12号 6月の行事予定について
第7回定例会	平成23年6月24日	議第40号	平成22年度主要事業、恵那市総合計画施策別点検評価
		議第41号	恵那市教育委員会行政不服審査法及び行政事件訴訟法に基づく教示の文例に関する規則について
		議第42号	恵那市中山道広重美術館管理規則の一部を改正する規則について
		議第43号	恵那市中山道ひし屋資料館管理規則の一部を改正する規則について
		議第44号	恵那市岩村歴史資料館管理規則の一部を改正する規則について
		議第45号	恵那市岩村城藩主邸御殿茶室管理規則の一部を改正する規則について
		議第46号	恵那市木村邸資料館管理規則を廃止する規則について
		議第47号	恵那市工芸の館土佐屋管理規則を廃止する規則について
議第48号	恵那市指定文化財旧三宅家管理規則を廃止する規則について		
議第49号	恵那文化センター規則の一部を改正する規則について		

		議第50号	恵那市図書館協議会委員の委嘱について(追加)
		議第51号	恵那市公民館規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(7月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 7月の行事予定について
第8回定例会	平成23年7月22日	協議事項	協第1号 平成24年度使用教科用図書の採択について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(8月)のトピックについて 報第3号 恵那文化センター及び明智かえでホール物品販売等事務取扱要綱について 報第4号 平成23年度恵那市教育フォーラムについて 報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第8号 8月の行事予定について
第9回定例会	平成23年8月26日	議第52号	恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区保存計画の一部改正について
		協議事項	協第1号 恵那市中山道四ツ谷休憩所条例の廃止について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(9月)のトピックについて 報第3号 恵那市図書館資料収集方針 報第4号 恵那市図書館資料の督促及び弁償に関する事務取扱要綱について 報第5号 恵那市図書館寄贈資料等取扱要綱について 報第6号 恵那市伝統的建造物群保存地区保存条例の一部改正について(専決処分) 報第7号 中山道四ツ谷休憩所の土地及び建物の無償譲渡について 報第8号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第9号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第10号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第11号 9月の行事予定について
第10回定例会	平成23年9月26日	議第53号	恵那市学校管理規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(10月)のトピックについて

			報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 10月の行事予定について
第11回定例会	平成23年10月17日	報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(11月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 11月の行事予定について
第12回定例会	平成23年11月24日	議第54号	恵那市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
		議第55号	恵那市体育指導委員に関する規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(12月)のトピックについて 報第3号 恵那市生涯学習活動団体登録要綱について 報第4号 恵那市体育指導委員の選任に関する要綱の一部を改正する要綱について 報第5号 恵那市地域スポーツ推進委員に関する要綱の一部を改正する要綱について 報第6号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第7号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第8号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第7号 12月の行事予定について
第13回臨時会	平成23年12月16日	議第56号	教育委員長及び職務代理者の選任について
		議第57号	恵那市スポーツ施設管理規則の一部を改正する規則について
第14回定例会	平成23年12月26日	協議事項	協第1号 恵那市学校管理規則の一部改正について 協第2号 地区コミュニティセンター等運営管理形態の検討事項について 協第3号 恵那市公民館条例の一部改正について 協第4号 恵那市図書館条例の一部改正について 協第5号 恵那文化センター条例の一部改正について 協第6号 恵那市明智かえでホール条例の一部改正について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について 報第2号 恵那市の小中学校(1月)のトピックについて 報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について 報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について 報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について 報第6号 1月の行事予定について

第1回定例会	平成24年1月31日	議第1号	恵那市教育委員会情報公開条例施行規則の制定について
		議第2号	恵那市教育委員会個人情報保護条例施行規則の制定について
		議第3号	恵那市教育委員会行政不服審査法及び行政事件訴訟法に基づく教示の文例に関する規則の一部改正について
		協議事項	協第1号 恵那市奨学資金貸与規則の一部改正について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について
			報第2号 恵那市の小中学校(2月)のトピックについて
			報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について
			報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について
			報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について
			報第6号 2月の行事予定について
第2回定例会	平成24年2月24日	議第4号	恵那市岩村町本通り伝統的建造物群保存地区保存計画の改正について
		議第5号	恵那市学校管理規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成24年度恵那市予算案について
			報第2号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について
			報第3号 恵那市の小中学校(3月)のトピックについて
			報第5号 恵那市中央図書館月別利用状況について
			報第6号 中山道広重美術館月別観覧者数について
			報第7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について
			報第8号 3月の行事予定について
第3回臨時会	平成24年3月8日	議第6号	人事異動について
		議第7号	恵那市立学校施設開放規則の一部を改正する規則について
第4回定例会	平成24年3月23日	議第8号	恵那市社会教育委員会からの提言について
		議第9号	恵那市図書館規則の一部を改正する規則について
		報告事項	報第1号 平成23年度教育委員会主要事業の進捗状況について
			報第2号 恵那市の小中学校(4月)のトピックについて
			報第3号 恵那市中央図書館月別利用状況について
			報第4号 中山道広重美術館月別観覧者数について
			報第5号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数について
			報第6号 4月の行事予定について

平成24年度（平成23年度対象） 教育委員会点検・評価報告書

発行 恵那市教育委員会

〒509-7492 恵那市岩村町545-1

電話：(0573) 43-2112（内線）311

FAX：(0573) 43-4137